

南小たば風通信 2018

平成30年7月5日（木） 第12号

4年生 国語科「言葉の伝え方を考えよう」事後研記録

1. 授業者より

〈福山先生〉

- ・子供達は、一生懸命話し合っていた。
- ・話す時間を確保してあげたかった。前時が長引いて、今日の導入に食い込んでしまった。その影響で、まとめを教師側でリードして進めてしまった。
- ・単元計画（単元のめあて）をしっかりとやったので、見通しをもって学習できた。
- ・見た目と味のギャップがあるお菓子だったので、先に食べてみてもよかったかも。
- ・今回の時間で押さえたかった内容を取り入れたネーミングができた。児童自身は満足していた。

〈山本先生〉

- ・単元計画が大事だと感じた。前時の怪獣の名前の学習が今日のお菓子の名前をつける学習に生きていた。前時までの擬音語、擬態語なども取り入れる事ができた。
- ・深め合う場面をもう少し丁寧にできたらよかった。その言葉を使った理由を教師と一緒に考えながら交流できればよかった。
- ・誤った方向にネーミングをしようと思った班があったが、前時までの学習を思い出して修正する事ができた。

2. グループ討議

柱① 授業全体から

(1) つかむ (2) 深める (3) まとめる (4) 単元計画

柱② 仮説の検証 (どの場面で自らの学びを見通し、広げ、考えを深められたか)

Aグループ

- ・身に付けさせたい力が 共に考えを創り上げるなので、話し合いの場面の理由付けまでできる時間を確保した方がいい。
- ・実物があってよかった。条件をどこまで出すか。長過ぎる名前はわかりにくいということを早い段階で確認すると、児童の思考の整理ができたかもしれない。
- ・TTとの連携、役割分担がよかった。
- ・振り返りの場面では、仮説との検証から言うと単元計画は見通しが持てる計画でよかった。広がり、深まりでは、自分の考えが、どうして変わったのか、どうして変わらなかったのかということをもとに話したり聞いたりすればよかった。
- ・擬態、擬音など、学習内容を活かした学習ができていた。



Bグループ

- つかむでは、既習事項が掲示してあってよかった。
- 本時の目標とめあてが合っているのか？
目標と一致させためあてとして「〜〜〜して感想をもとう」等はどうか。
- 前時までの学習内容のキーワードを視覚化しておく、要点に沿った思考の流れができて、目標に沿った考えがもっと出てきたかもしれない。
- 名前をつける際、今までの学習を生かすとしたら、ストロベリーやイチゴ等の名詞を使わないように働きかけるのも一つの方法か。
- 小集団で話し合いしたときに、主張が強い児童だけの意見に偏らないように、教師が間に入って、あえてゆさぶりを与えるのも方法の一つとしてある。
- 「新たな視点をもたせる」とはどういうことか指導案に明記してもよい。
- 仮説が難しい… 変更するなら今かも！

Cグループ

- 授業者が教師の言葉が多かったと話していたが、子ども達
- 学習内容に必要感があった。めあてを自分達で考えられたことにつながっていた。
- 教科書の内容を活用してイメージさせることができてよかった。
- 実物を用いた事がよかった。
- 理由を出せる場面の時間の確保があればよかった。中盤の時間の使い方の工夫を。
- T2の入り方が良い。2人で授業をつくっていた。
- 鉛筆の持ち方がいい。ノートもきれい。
- 授業中に商品名（固有名詞）を出していいものなのか。



3. 教頭先生より

- 話し合いをしても難しいと感じた。研究がスタートして、やりにくい部分が出てきた頃かもしれない。仮説を思い切って絞っていくことも視野に入れて公開研の準備を進めていくとよい。先生方がやり易く、児童に身につけさせる力がはっきりする形で取り組んでいければ良い。
- 本時の目標がこれからもっと大事になる気がする。それを踏まえて、めあてを一致させ、何の力をつけるのかを明確にすることが必要。

4. 校長先生より

- 提案授業のあと、今日は検証授業の位置づけになるのかな。公開研では、南小スタイルを見せられたらよい。授業、掲示物を含め、参加者が「どうやってるんですか？」と聞いてもらえるような取組をしていければいいと思う。
- 教材の準備をしている姿を見かけた。TTと一緒に準備をしていたことが素晴らしい。

☆運動会、陸上競技大会後でタイトなスケジュールでの授業づくり、ありがとうございました。公開研に向け、各ブロックでスケジュールや構想が話し合われていると思います。今回の授業研で話し合われた事や単元の構成の仕方を参考にさせていただいて、準備を進めていってほしいと思います。